

番号	課名
D - 1	都市デザイン課

事務事業名	港湾整備推進事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-17-38	港湾の整備と活用
	施策の課題(事務事業の実施目的)	大分県により進められている臼杵港の整備を推進し、人流、物流、防災、憩いの場の機能を強化する。	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	県事業に対する事業費の一部を負担します。港湾整備は新しい2箇所のフェリーバースの計画のうち、1箇所分の負担は令和3年度までで完了しました。令和4年度からは2箇所目の整備に着手しており、事業全体の推進を図っています。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	第2期事業進捗率	工事の進捗率(交付金事業費ベース)	%	-	-	6	19	28
②	全体事業進捗率	工事の進捗率(交付金事業費ベース)	%	61	67	69	73	76
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	フェリー乗降1台当たりの事業コスト					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	負担金(円)/フェリー乗降台数(台)				
	99,063	72,057	内容	県工事負担金	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	地方債			485	829	250	495	357

事業対象	市民、旅行者、事業者	今年度の成果	県による事業は、新フェリーターミナルの1期目が完成し、5月より供用開始を行うことができました。
------	------------	--------	---

成果指標	指標名	フェリー乗降台数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	港湾統計調査の数値を引用		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	フェリー利用者の動向により事業の効果を図る	千台/年	175	180	188	201	202

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率が低い	事業は湾内の安全性の確保や、港を利用する船舶の大型化などに対応するものであり、有効性は高いと考えています。県の事業費の一部を負担するものであるため、県の事業計画やスケジュールに沿って、効率的に予算確保を行う必要があります。

事業の問題・課題	港湾事業は、コストが高いため、市の負担額も大きくなります。県の事業計画と整合が図れず市の予算に不足が生じた場合、事業の進捗に影響が生じることがあります。
----------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化
			施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
D - 2	都市デザイン課

事務事業名	市営住宅管理代行業務	新規・継続・単年	
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-18-41	快適な住環境の確保
	施策の課題(事務事業の実施目的)	市営住宅の適正管理	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	市営住宅条例に基づく管理運営業務、徴収業務等公営住宅の利用に関する業務及び設備保全業務に関し、大分県住宅供給公社へ管理代行として業務委託しています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	納入指導件数	電話催促・訪問督促件数	件	824	742	650	640	647
②								
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	管理事務費削減率				
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	管理事務費(人件費+事務費)の削減率			
	40,564	40,564	内容	管理代行事務委託料	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	一般財源		24.9	21.0	19.9	21.2	11.2

事業対象	市営住宅入居者	今年度の成果	電話督促・訪問督促を細やかにし、長期滞納とならないよう取り組んでいます。徴収率は高い水準を保持しています。
------	---------	--------	---

成果指標	指標名	住宅使用料の徴収率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	収納額/調定額		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由			%	99.84	99.71	99.77	99.90

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	専属機関による充実した管理運営体制の構築によって、事務の適正化・効率化が図られています。併せて使用料徴収率は高い水準を保持しています。

事業の問題・課題	他部署との連携や特殊事例の対応などにより大分県住宅供給公社単独の対応が困難で、業務を委託することによる市の人役コストの削減効果が限定的なものになってしまう場合があります。
----------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 中	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
D - 3	都市デザイン課

事務事業名	空き家対策事業(除却・適正管理)	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-18-41	快適な住環境の確保
	施策の課題(事務事業の実施目的)	空家の除却・適正管理により住環境を向上させる	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	総合的な空き家対策の推進が求められている中、「臼杵市空家等対策計画」により住環境の改善を図っています。管理状態の悪い空家については所有者を調査して適正管理のお願いをし、更に状態が悪く倒壊等のおそれがある老朽危険空家等については除却費用の補助を行っています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	老朽危険空家等の除却件数	除却補助金の利用件数(各年)	件	13	18	14	10	2
②	老朽危険空家等の調査件数	老朽危険空家の調査申込件数(各年)	件	31	47	40	24	18
③								
④								

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	申請者1人あたりの補助金額				
		前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費(千円)÷申請者数(人)			
	4,609	882	内容	補助金	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	国1/2			486.8	431.8	459.1	460.9	441.0

事業対象	空き家所有者	今年度の成果	老朽危険空家等の除去については調査申込18件のうち2件が補助金を利用して除却を行い、快適な住環境の確保に寄与できました。
------	--------	--------	--

成果指標	指標名	老朽危険空家等の除却件数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	除却補助金の利用件数(累計)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	老朽危険空家の除却により周辺住民の住環境が向上するため		件	57	75	89	99

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	空家の相談が年々増加するなか、補助制度が除却の後押しとなり周囲の生活環境が改善されています。管理不全空家については相談件数が増すにつれ現地調査や相続調査が追い付かなくなっていく可能性があります。NPOとの連携や委託等を検討する必要があります。				

事業の問題・課題	空き家対策に係る諸制度の周知と併せて、空き家所有者の管理責任を第一義にとらえ、適正管理や放置されたままの空き家を発生させないための早期対応への意識の向上が求められます。著しく危険な状況になる前に対策を講じていくことが周辺の環境保全のためにも重要となります。また、相談件数の増加に伴い業務の逼迫が懸念されます。
----------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
D - 4	都市デザイン課

事務事業名	定住促進対策事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-18-41	快適な住環境の確保
	施策の課題(事務事業の実施目的)	住環境の向上、整備	
	関連施策名(施策コード)	VI-18-39	まちづくりの計画的推進

事業内容(経緯)	「住み心地一番のまちづくり」を目指し、本市が抱える課題である「少子化」「人口減少」対策の重点施策として、若者、子育て世代の定住に向け、住環境の向上のため、道路や公園、宅地など様々な方面から計画的な改善に取り組んでいます。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	提案事業の検討数	施策や計画提案の検討数(累計)	件	-	7	9	9	9
②								
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	事業計画あたりのコスト				
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	年度事業費(百万) / 計画数			
	18,260	61,410	内容	計画策定委託	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	一般		-	-	6.8	10.2	3.3

事業対象	市民及び移住希望者	今年度の成果	定住促進宅地の検討として野津地域は測量と詳細設計を行い、一部工事に着手することが出来ました。臼杵地域では狭あい道路・公園の検討を継続しています。
------	-----------	--------	--

成果指標	指標名	計画等の作成数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	事業計画等の作成に取り組んでいる件数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	行動指標からの進捗を成果としたため	件	-	2.00	4.00	4.00	4.00

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	計画を作成し、着実に実施することで住環境の向上が見込まれると考えます。更に効果的効率的に事業を推進するため庁内連携の改善強化が必要です。

事業の問題・課題	事業計画を作成するため、事業実施担当課や関係課との詳細協議や調整に時間を要しています。庁内の連携を強化し事業計画を作成できるように努めます。
----------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
D - 5	建設課

事務事業名	地籍調査事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	-
	施策の課題(事務事業の実施目的)	地籍調査事業の早期完了
	関連施策名(施策コード)	-

事業内容(経緯)	地籍調査事業とは、登記簿・字図等を基に、一筆ごとの土地について、正しい位置・境界・番地・地目・所有者・面積等を明確にし、新しい地図(地籍図)と台帳(地籍簿)を作成する業務です。臼杵地域は平成14年から、野津地域は平成7年から事業を実施しています。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	地籍調査実施面積(事業計画面積276.44km <sup>2</sup> )	調査実施面積	km <sup>2</sup>	38.43	40.30	40.38	40.41	40.76
②								
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	-					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	-				
	13,500	16,750	内容	地籍調査費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	国庫補助金、県補助金、一般財源			-	-	-	-	-

事業対象	土地所有者	今年度の成果	臼杵地域:大字江無田の一部:一筆地調査(E工程) 野津地域:大字白岩の一部:測量調査(C、F、G工程)
------	-------	--------	--

成果指標	指標名	地籍調査達成率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	調査済面積÷計画面積		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	土地所有者の高齢化により、土地の境界確定が難しくなるため、早期の実施が期待される	%	13.90	14.58	14.61	14.62	14.74

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	B A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	C A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	土地の確定は公益並びに権利の確定につながるものの、それに伴う経済的な効果は直には現れません。また、事業完了までかなりの年数を要するため、効率的手法の導入など事業・事務を改善する必要があります。				

事業の問題・課題	公図と現地の状況の相違・境界立会時での隣接地所有者との主張の相違・現地立会人の世代交代による障害(境の認識不足)により、筆界確認が困難な場合があります。また、長期間にわたる継続事業でもあり、早期事業完了に向けて、国・県等の対応が急がれます。
----------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	やや遅延	貢献度 大	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
D - 6	建設課

事務事業名	生活環境改善事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-17-36	適正な道路整備及び維持管理の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	主要道路以外に生活に密着した道路において整備が必要な道路の増加	
	関連施策名(施策コード)	VI-21-51	交通安全対策の推進

事業内容(経緯)	市民の生活に密着した里道・水路の要望に対し柔軟に対応するため、生活改善事業として里道・水路の補修を実施しました。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	事業実施箇所数	実施箇所数	箇所	15	10	28	17	17
②								
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	1件当り事業費(千円)					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	単年度実施事業費÷補修工事実施数				
	10,784	16,063	内容	工事請負費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	一般財源			812.0	799.0	420.0	634.0	945.0

事業対象	要望地区住民	今年度の成果	令和6年度は要望箇所のうち17箇所において事業を行いました。
------	--------	--------	--------------------------------

成果指標	指標名	単年度事業進捗率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	単年度実施事業費÷単年度事業費		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	事業が計画的に実施されているか図るため	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	里道・水路は市民生活に密着しており、実施することで構造物の長寿命化が図れ、利用者が安全に利用できます。

事業の問題・課題	里道・水路に対して要望が多く対応しきれないのが現状です。
----------	------------------------------

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
D - 7	建設課

事務事業名	道路補修事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-17-36	適正な道路整備及び維持管理の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	主要道路以外に生活に密着した道路において整備が必要な道路の増加	
	関連施策名(施策コード)	VI-21-51	交通安全対策の推進

事業内容(経緯)	市道約629kmにおいて、区長及び市民の方からの要望や通報を受け、緊急性の高い道路や側溝の補修工事を実施しました。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	実施事業費		千円	91,761	84,189	101,028	92,691	101,586
②	点検パトロール回数		回	4	4	4	4	4
③	補修工事実施数		件	88	106	126	143	112
④								

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	市道1km当り事業費(千円)				
		前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	単年度実施事業費÷市道延長(km)			
	92,691	101,586	内容	工事請負費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	一般財源			146	134	161	147	162

事業対象	市民全体	今年度の成果	安全で快適な生活環境の確保のため、地区からの要望や突発的な破損等に随時対応することで、より安全な通行やスムーズな道路排水を確保することができます。令和6年度は112件の補修工事を実施しました。
------	------	--------	--

成果指標	指標名	単年度事業進捗率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	単年度実施事業費÷単年度事業費		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	事業が計画的に実施されているか図るため		%	100.0	100.0	100.0	100.0

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	道路の安全確保や市民からの要望等に迅速に対応でき快適性及び安全性が維持できます。また、部分的な補修を実施することにより大規模な改修までの期間を遅らせることができます。	

事業の問題・課題	道路の老朽化が進み、要望等も多数あり、対応に時間を要する案件も増えています。
----------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
D - 8	建設課

事務事業名	市道新設改良事業(過疎債事業)	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-17-36	適正な道路整備及び維持管理の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	主要道路以外に生活に密着した道路において整備が必要な道路の増加	
	関連施策名(施策コード)	VI-21-51	交通安全対策の推進

事業内容(経緯)	主として基幹的な市道の整備について、市の財源負担の軽減ができる過疎債を活用して整備を行っています。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	①	整備済延長(単年度)	事業費による換算延長	m	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	②								
	③								
	④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	市道1km当り事業費(千円)					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	単年度実施事業費÷市道延長(km)				
	120,545	147,219	内容	委託料、工事請負費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	地方債、一般財源			275.0	245.0	182.0	192.0	234.0

事業対象	道路利用者	今年度の成果	交通の流れが円滑になり、歩行者の安全を確保するとともに、地域間の交流・連携を強めることができます。また、法面の補修を計画的に行うことで、災害を未然に防ぐことにも繋がります。令和6年度は12事業を実施しました。
------	-------	--------	--

成果指標	指標名	道路改良率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	累計整備済延長÷全体計画延長(18,654m)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	事業が計画的に実施されているか図るため	%	55.90	61.30	65.20	69.50	75.50

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	改良整備を実施することにより、利用者が安全に通行でき、交通の利便性も向上しています。

事業の問題・課題	道路整備に伴い、公共用地の取得が必要な路線がありますが、計画的に取得が進まずに事業の進捗が停滞している路線もあります。今後は、さらに関係者への協力をお願いしていく必要があります。
----------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
D - 9	建設課

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業による市道改良事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-17-36	適正な道路整備及び維持管理の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	主要道路以外に生活に密着した道路において整備が必要な道路の増加	
	関連施策名(施策コード)	VI-21-51	交通安全対策の推進

事業内容(経緯)	臼杵市の市道には、幅員狭小・歩道未整備・道路施設の老朽化等により、道路利用者の安全性の確保が必要とされている路線があります。そこで社会資本整備総合交付金を活用し、地域の道路環境を整えていきます。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	整備済延長(単年度)	事業費による換算延長	m	1081	1339	451	650	220
②								
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	市道1km当り事業費(千円)					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	単年度実施事業費÷市道延長(km)				
	307,772	343,121	内容	委託料、工事請負費、公有財産購入費、補償補填及び賠償金	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	国県支出金、地方債、一般財源			858	1013	351	489	546.0

事業対象	道路利用者	今年度の成果	交通の流れが円滑になり、歩行者の安全を確保し、地域間の連携を強めることができました。また、橋梁の補修を計画的に行うことで橋梁の長寿命化が図られました。令和6年度は13事業を実施しました。
------	-------	--------	---

成果指標	指標名	道路改良率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	累計整備延長÷全体計画延長(12,277m)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	事業が計画的に実施されているか図るため	%	54.6	65.5	69.2	74.4	76.3

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	道路整備により、移動時間の短縮・交通事故の減少などの効果が発揮できています。また、工法検討を行いながら、工事の円滑な実施及びコスト縮減を行っています。

事業の問題・課題	道路整備に伴い、公共用地の取得が必要とされる路線がありますが、計画的に用地取得が進まずに事業の進捗が停滞している路線も存在します。今後、さらに関係者へ協力をお願いしていく必要があります。
----------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
D - 10	建設課

事務事業名	市道新設改良事業(地方道路整備事業)	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-17-36	適正な道路整備及び維持管理の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	主要道路以外に生活に密着した道路において整備が必要な道路の増加	
	関連施策名(施策コード)	-	

事業内容(経緯)	幹線道路に接続する地域内の道路整備を行うことにより、市内全域の交流を促進し、地域の一体感の創出と活性化を図ります。平成27年度より地域間バランスを考慮しながら本事業により市道の整備を行っています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
					R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	①	整備済延長(単年度)	事業費による換算延長	m	421	104	288	380	300
	②								
	④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	市道1km当り事業費(千円)					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	単年度実施事業費÷市道延長(km)				
	42,850	49,502	内容	委託料、工事請負費、補償補填及び賠償金	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	地方債、一般財源			76.0	20.0	52.0	68.0	78.7

事業対象	道路利用者	今年度の成果	令和6年度は、7事業に取り組みました。
------	-------	--------	---------------------

成果指標	指標名	道路改良率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	累計整備済延長÷全体計画延長(23,557m)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	事業が計画的に実施されているか図るため	%	88.30	88.70	89.90	91.50	92.80

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	地域内の市道は、幅員の狭い路線が多く、緊急車両の通行にも支障がありましたが、改良することにより防災面での効果も向上しています。また、用地を寄付して頂き事業を実施しており、効率的に整備を行っています。	

事業の問題・課題	地区内市道は、幅員が狭い等で日常生活に支障を及ぼしている路線も数多くあります。各地区からの要望も多く十分な対応ができていないのが現状です。
----------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
D - 11	建設課

事務事業名	市道新設改良事業(辺地債事業)	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-17-36	適正な道路整備及び維持管理の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	主要道路以外に生活に密着した道路において整備が必要な道路の増加	
	関連施策名(施策コード)	-	

事業内容(経緯)	平成20年度より「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき、対象となる地域内の市道整備を実施しています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	道路改良率	累計整備済延長÷全体計画延長(5,490m)	%	71.6	72.7	73.9	75.6	76.4
②								
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	市道1km当り事業費(千円)					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	単年度実施事業費÷市道延長(km)				
	14,997	14,529	内容	工事請負費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	地方債、その他、一般財源			12	16	15	24	23

事業対象	道路利用者	今年度の成果	令和6年度は、市道1路線において工事を実施しました。今後も市の財政負担の軽減ができる辺地債事業を活用して道路整備を行っていきます。
------	-------	--------	---

成果指標	指標名	道路改良率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	累計整備済延長÷全体計画延長(5,490m)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	事業が計画的に実施されているか図るため	%	71.6	72.7	73.9	75.6	76.4

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	工法検討を行いながらコスト縮減化した道路整備により、交通の利便性が向上し、緊急車両の通行が容易になったり、地域の活性化に役立ちます。				

事業の問題・課題	道路整備に伴い、公共用地の取得が必要とされる路線がありますが、計画的に用地取得が進まずに事業の進捗率が停滞している路線も存在します。今後、さらに関係者へ協力をお願いしていく必要があります。
----------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
D - 12	建設課

事務事業名	大分県市町村営急傾斜地崩壊対策事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備
	施策の課題(事務事業の実施目的)	土砂災害を防止するため急傾斜地崩壊防止対策の継続的な実施	
	関連施策名(施策コード)	-	

事業内容(経緯)	県事業の対象とならない1戸以上5戸未満の区域において、急傾斜地の土砂災害を未然に防止し、住民の人命や家屋を守るため、対策工事を実施します。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	累計整備戸数	平成13年度からの累計	戸	32	34	37	42	44
②								
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	整備率(%)					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	11 一般会計		説明・算式・引用	整備戸数/要望戸数(要望戸数:59戸)				
	59,227	95,845	内容	委託費、工事費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	県支出金、地方債、受益者負担金、一般財源			54.2	57.6	62.7	71.2	74.6

事業対象	市民の生命と財産	今年度の成果	急傾斜危険地域の崩壊対策工事を行うことで、土砂災害等を未然に防止し、住民の生命及び家屋を守ることが出来ました。(令和6年度:4事業実施)
------	----------	--------	--

成果指標	指標名	整備戸数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	整備戸数/要望戸数(要望戸数:59戸)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	臼杵市営急傾斜地崩壊対策事業実施要綱第8条により、受益者は市長に要望書を提出する必要があるため。	戸	32	34	37	42	44

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	事業を有効的に行うため、毎年、事業計画の見直しを行っています。また、経済性を考慮した工法検討を行うことで、コストに対して見合った効果を得ることが出来ます。

事業の問題・課題	急傾斜地で崩壊の危険性のある箇所は、要望箇所以外にも多くあり、十分な対策ができていないのが現状です。
----------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
D - 13	建設課

事務事業名	臼杵市総合公園 園路照明灯更新事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-18-40	魅力ある公園整備と適正な維持管理
	施策の課題(事務事業の実施目的)	公園施設の日常的な安全性の確保	
	関連施策名(施策コード)	-	

事業内容(経緯)	臼杵市総合公園内のソーラー照明が経年劣化による蓄電能力の低下により、不点灯や点灯時間が著しく短い状況となっており、夜間の公園の安全性が低下しているため、令和5年度時点で不具合が確認されているソーラー照明灯12基について計画的にリノベーションを実施します。令和5に3基、令和6年度は4基のリノベーションを行いました。なお、令和7年度は5基のリノベーションを予定しています。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
					R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	①	ソーラー照明灯リノベーション		基	-	-	-	3	4
	②								
	③								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	1基あたりのリノベーション費用(千円)				
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費÷リノベーション基数			
	2,481	3,219	内容	工事請負費	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	一般財源		-	-	-	827	804

事業対象	公園利用者	今年度の成果	臼杵市総合公園花見広場内の夜間における安全性が向上しました。
------	-------	--------	--------------------------------

成果指標	指標名	ソーラー照明灯リノベーション率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	ソーラー照明灯リノベーション数÷不具合が確認されているソーラー照明灯数(12基)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	公園施設の適正な維持管理の実施に寄与しているため	基	-	-	-	25%	58%

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	既設照明灯の基礎や柱を再利用することで経済性に配慮しており、周辺施設との兼ね合いから最も夜間に暗くなるエリアから計画的に実施しています。

事業の問題・課題	既設照明灯の基礎や柱を再利用することで経済性を確保していますが、近年の物価上昇により材料費が高騰しており、年々1基あたりの事業費が増加傾向にあります。
----------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 中	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
D - 14	建設課

事務事業名	東深江漁港地方創生港整備推進交付金事業	新規・継続・単年	新規
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-21	安定的な水産業経営の充実
	施策の課題(事務事業の実施目的)	漁港施設整備費の増大	
	関連施策名(施策コード)	III-8-14	防災・減災のための環境整備

事業内容(経緯)	台風等の高波による漁船や漁港施設への被害を防ぐために、漁港の機能強化を図ります。令和6年度より事業を開始し、令和6年度は、防波堤の測量設計委託を行いました。			
----------	--	--	--	--

基本項目 行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)					
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
	①	漁港施設整備の進捗率	整備済事業費/計画事業費(累計)	%	-	-	-	-	2.5
	②								
	③								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	利用船数(漁業に使用する補助船含む)あたりにかかるコスト(千円)					
	前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費÷利用船数(漁業に使用する補助船含む)				
	-	15,520	内容	委託料	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	国県支出金、地方債、一般財源			-	-	-	-	352.7

事業対象	破産地区漁業関係者	今年度の成果	台風等の高波被害から漁船や漁港施設を守り、水産業の安定した経営の実現に向けた防波堤改良整備の設計ができました。
------	-----------	--------	---

基本項目 成果指標	指標名	荒天時係留漁船等隻数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	(地元漁船隻数)-(他港への避難数+他港からの避難数)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	荒天の度に他港に避難することにより出漁日数が減少するため	隻	-	-	-	-	36.00

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	整備により港内の静穏度が保たれる防波堤構造となり、荒天時に漁船が他港へ避難する必要がなくなります。

事業の問題・課題	近年の物価高騰に伴い、事業費が当初計画より増加していく見込みです。
----------	-----------------------------------

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
D - 15	上下水道課

事務事業名	浄化槽設置費補助事業(個人設置)	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-18-43	生活排水処理対策・浸水対策の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	公共用水域の水質保全や生活環境の改善等を推進するためには、浄化槽設置の推進に努めることで生活排水処理率や接続率の向上が必要です。	
	関連施策名(施策コード)	VI-18-41	快適な住環境の確保

事業内容(経緯)	公共用水域の水質保全・生活環境の改善などを目的とした生活排水対策の一環として補助事業を行っています。平成27年度からは県の上乗せ補助制度を活用し、徐々に補助額上限についても増額となっています。下水道等の集合処理施設の整備計画がない地域で、単独浄化槽又は汲み取り便槽からの合併処理浄化槽へ設置換えを行う家庭に対して、設置した浄化槽の人槽に応じて予算の範囲内で補助金を交付しています。(補助実績 R2:46基 R3:88基 R4:106基 R5:102基 R6:73基)
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
①	浄化槽設置基数	補助金を活用して設置した浄化槽の累積設置基数	基	1864	1952	2058	2160	2233
②	浄化槽設置普及促進活動の回数	浄化槽を普及するための啓発活動の実施回数	回	2	2	2	1	2
③								
④								

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	1基あたりの費用				
		前年度(R5)	当該年度(R6)	会計	一般会計		説明・算式・引用	補助額合計(事業費計)÷設置基数			
	95,548	67,992	内容	浄化槽設置費補助金	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
			財源	国県支出金、一般財源			548.043	852.582	888.877	936.745	931.397

事業対象	下水道等集合処理施設の区域外の地域住民	今年度の成果	合併処理浄化槽を設置することにより、生活排水を処理し、公共用水域の水質保全・生活環境の改善が図られます。令和6年度は73基分に対して補助金を交付しました。
------	---------------------	--------	---

成果指標	指標名	浄化槽人口普及率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	浄化槽処理人口÷行政人口		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績
	指標設定の理由	単独処理浄化槽および汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進し、合併処理浄化槽人口の向上を目指します。		%	16.98	17.68	19.03	19.65

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	補助金制度により合併処理浄化槽への転換が促進され、公共用水域の水質保全・生活環境の改善が図られています。また、浄化槽は地震にも強く、適正な維持管理を行えば、下水道と同程度の処理能力を有しています。しかし、補助対象の単独処理浄化槽・汲み取り便槽の総量把握が困難であり進捗状況が把握しづらいことから、効率的な事業実施が難しい状況です。				

事業の問題・課題	浄化槽の設置替え工事をするにあたり、補助金額を超える費用等は個人負担であるため、実施について各家庭では慎重になります。今後も、水質汚濁防止のために生活排水処理が必要であることを広報し、転換の必要性を広く周知していく必要があります。
----------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	やや遅延	貢献度 中	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。